



若鮎の子

国頭村立 安波小学校
国頭村字安波601番地
TEL 0980-41-7556
FAX 0980-41-7558
文責：校長

学校だより 令和元年 9月10日 第13号



タイ児童交流！

あはビジョン「あしもとをみつめ はばたこう世界へ」

2学期が始まり、2週目に入った9月3日（火）安波小学校に、タイからの訪問がありました。タイのカンチャナブリ県にある「BAN THONGRUA KLONE 小学校」（どう発音するかわかりません）から小学生6名と先生4名が安波小学校を訪れました。東京のNPO 団体が以前からタイの小学校を援助していて、タイと国頭村の交流を企画したのです。

交流会に向けて、安波っ子は、自分たちでアイデアを出し合い、3種類の交流内容を考えました。

対面式に続き、まず最初は「スポーツ交流」です。体育館でいっしょに体を動かせば、きっと言葉の壁なんてなくなるだろう、とのことでした。内容は「けいどろ（おにごっこ）」と「ドッジボール」。みんな汗びしょりで夢中です。

次は「日本の文化で交流」です。教室に準備したのは「おりがみ」「習字」「けんだま」「トントンずもう」です。タイの先生もうれしそうに体験していました。通訳スタッフが一人だけでしたので安波っ子は通訳さんを待たずにどんどん日本語で話しかけます。「ここをこうやって」とか「そうそう！」とか「OK OK」など、通じているような感じです。最後は「クッキング交流（おやつづくり）」です。みんなで家庭科室へ移動し「くずもち」をつくります。火も使います。大丈夫でしょうか。材料を混ぜ、火にかけ、かき混ぜます。味見タイムをしましたが、反応はどうでしょう。

さあ、給食です。さきほどの「くずもち」もメニューに並びます。給食の間も安波っ子は「これ、おいしいよ」とか「食べきれないのは残してもいいよ」など話しかけますが、なんとなく通じているようです。子どもたちの世界はステキですね。

安波っ子は、タイのみなさんが安波小学校にいる時間を楽しんで過ごしてもらおうと、一生懸命に考え、準備をし、そして交流しました。「おもてなし」の心でむかいました。その「心」は、言葉が違って伝わったようです。給食後の見送りタイムでは、タイのみなさんは、それはそれは大きな笑顔で手を振って「タイにおいでよ」と声をかけてくれました。それを見送る安波っ子の表情は、どの子にも達成感と満足感と「おもてなし」の心が宿っていたのでした。

民族衣装で登場です



サワディーカ（おはよう）



それいけ！



タイも安波も暑いね



しゅうじ？ なに？



なにができるの？ くずもち？ なに？



いただきます。



コープンカ（ありがとう）

